

第2回フルオラス科学研究会シンポジウムプログラム

2009年11月27日(金) IT ビジネスプラザ武蔵(金沢市武蔵町14-31) 交流室

10:00~10:45 特別講演1 座長 国嶋崇隆

フルオラス-スルホンアミド触媒を用いた立体選択的炭素-炭素結合形成反応の開発研究
(岐阜薬大¹, 千葉科学大薬²) ○三浦剛¹, 今井貴恵¹, 伊奈万里子¹,
多田教浩¹, 今井信行², 伊藤彰近¹

10:45~11:30 特別講演2 座長 畑中研一

フルオラス分離技術を利用する微量生体成分の高感度・高選択的 HPLC 分析法の開発
(福岡大薬) 轟木堅一郎

11:30~13:00 昼食

13:00~14:20 ポスターセッション(6F 交流室2)

14:30~14:50 フルオラス科学研究会会長挨拶 (岡山理大) 大寺純蔵
フルオラス科学研究会新会長の選出

14:50~15:35 特別講演3 座長 武内征司

フルオラス混合合成を用いた効率的な含フッ素アミノ酸の合成
(お茶の水女子大) 矢島知子

15:35~15:45 休憩

15:45~16:15 一般講演 座長 田中弘之

O-1. フラーレン二重膜ベシクルを用いた, 水中および固体表面でのフルオラス環境
の構築とその性質

(東大院理, ERATO, JST) ○本間達也, 原野幸治, 磯部寛之, 中村栄一

O-2. 糖鎖合成用パーフルオロポリエーテル型フルラスタグの開発

(野口研) ○水野真盛, 戸治野真美, 川上宏子

16:15~17:00 特別講演4 座長 伊藤彰近

ライトおよびミディウムフルオラスタグを基点とする有機合成
(名城大農) 松儀真人

17:30~ 懇親会(金沢スカイホテル, 18F 大宴会場)

ポスター講演（6F 交流室2）

1. フルオラスタグにより活性化されたりサイクル型フルオラスメタセシス触媒の合成
(名城大院農) ○小林佑基, 若月麻美, 塩入孝之, 松儀真人
2. 2,5-ジクロロ-3,6-ビス(ペルフルオロヘキシル)-1,4-ベンゾキノンの合成と反応性
(阪府大院理) ○前川卓彦, 松原浩
3. フェイズ・バニシング法によるシクロプロピルケトン類の開環臭素化
(阪府大院理) ○國吉健司, 松原浩
4. フルオラスタグを導入した蛍光誘導体化試薬 F-trap pyrene の改良とアミン類の HPLC 分析
(福岡大薬) ○美川智彦, 楠田和成, 轟木堅一郎, 糸山美紀, 巴山忠, 吉田秀幸, 能田均, 山口政俊
5. Fluorous Scavenging Derivatization (FSD) 法による高極性有機酸の蛍光誘導体化 HPLC 分析
(福岡大薬) ○橋本裕輝, 轟木堅一郎, 糸山美紀, 巴山忠, 吉田秀幸, 能田均, 山口政俊
6. フルオラスチオールの糖鎖合成への展開
(野口研) ○後藤浩太郎, ヌリアミナヌリマイマイティ, 水野真盛
7. テトラフルオロエチレンフィルター上への糖鎖固定化の検討
(¹野口研, ²東大生産研) ○戸治野真美¹, 粕谷マリアカルメリタ², 畑中研一², 水野真盛¹
8. フルオラスおよびアシル保護基を利用したミックスチャー合成法によるククルビトシド類の迅速かつ効率的な全合成
(新潟薬大応用生命) ○小島勝, 小森一城, 関川貴之, 中村豊, 武内征司
9. 新規高分子フルオラス反応場の開発とその反応への応用
(東理大理工) 小中原猛雄, ○吉川聡, 栃本剛宏, 池田玲子, 坂井教郎
10. フルオラスタグを有する糖鎖プライマーを用いたオリゴ糖鎖合成
(¹東大生産研, ²野口研) ○粕谷マリアカルメリタ¹, 戸治野真美², 水野真盛², 畑中研一¹
11. フルオラス光学分割法の開発 (第二報)
(東海大工¹, 東海大糖鎖研²) ○川島真人¹, 稲津敏行^{1,2}
12. 糖含有フルオラス金コロイドの調製 (第一報)
(東海大工¹, 東海大糖鎖研²) ○藤田遥一¹, 長崎大地¹, 稲津敏行^{1,2}
13. フルオラス-マイクロフロー複合系を使用したアミノ糖ユニットの合成
(野口研) ○川上宏子, 水野真盛